

人材確保対策に向けた取組み

(「自動車整備の高度化に対応する人材確保に係るWG」報告)

今年度の人材確保WGにおける検討課題(再掲)

おさらい: 前回資料より(第31回自動車整備技術の高度化検討会(R7.10.27))

自動車整備の高度化に対応する人材確保に係る検討WGについて

第31回自動車整備技術の高度化検討会(再掲) 資料5

背景

- 自動車整備業界は、整備士になろうとする若者の減少により、整備要員の平均年齢の上昇が進展。今後の後継者の確保や事業承継に課題。加えて車両技術進展にも対応する必要。
- 加えて、外国人技能実習制度から育成就労制度への移行を機に、一層の外国人人材の確保に向けたさらなる受入環境の整備も求められている。
- これらの課題整理と対策検討に向け、本WGにて、関係者が、共働して検討する。

検討概要

- 自動車整備に係る人材の確保・育成に係る現状や課題を整理したうえで、人材確保、後継者確保に資する環境整備等、短期・中長期に実施する取組を検討
- また、外国人材の更なる受入環境の整備にむけた課題と対策を整理

検討内容のイメージ

- 自動車整備業に必要な人材の確保に係る検討
 - (1) 学生・若い整備士への訴求
 - (2) 働きやすい職場確保、処遇改善の推進
 - (3) 車両技術進展に対応した整備技術向上
 - (4) 後継者確保のため事業環境整備や取組強化
- 外国人材の更なる受入環境整備
 - (1) 育成就労制度の運用実務の在り方
 - (2) 自動車整備士試験問題の外国人対応
 - (3) 自動車整備工場における外国人材の受入れに係る課題と対応(制度面、実務面)

自動車整備技術の高度化に対応する 人材確保に係る検討WG 委員

学識経験者等
関係団体

(一社) 日本自動車工業会
 (一社) 日本自動車整備振興会連合会
 (一社) 全国軽自動車協会連合会
 (一社) 日本自動車販売協会連合会
 全国自動車大学校・整備専門学校協会
 全国自動車短期大学協会
 全国自動車教育研究会
 日本自動車車体整備協同組合連合会
 日本自動車輸入組合

1. 自動車整備業に必要な人材の確保に係る検討
2. 外国人材の更なる受入環境整備

1. 自動車整備業に必要な人材の確保に係る検討

- 自動車整備業に必要な人材の確保に係るこれまでの取組、自動車整備業界を取り巻く現状を元に、今後、取り組むべき3つの方向性とそのターゲットを整理。
- 事業者・整備士・教育機関等に調査を実施し、令和8年度中に対応策を検討。

今後の取組の方向性

自動車整備業のイメージアップ

整備士の認知向上・体験する機会の提供

整備士の処遇改善

調査・検討事項のターゲット

世間一般

(未就業者の保護者を含む)

就学前

小学生

中学生

高校生等

大学生／専門生

整備要員

潜在整備士

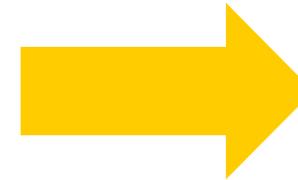
1. 自動車整備業に必要な人材の確保に係る検討
2. 外国人材の更なる受入環境整備

2. 外国人材の更なる受入環境整備

- 自動車整備業における外国人材の受入環境整備に係るこれまでの取組、昨今の外国人材政策に関する動向を元に、今後、取り組むべき2つの方向性とそのターゲットを整理。
- 事業者・整備士・教育機関等に調査を実施し、令和8年度中に対応策を検討。

今後の取組の方向性

外国人材の長期的な活動に係る
不安払拭や課題解決



調査・検討事項のターゲット

外国人材
監理団体等

外国人材受入に係る
自動車整備事業者の不安払拭や課題解決

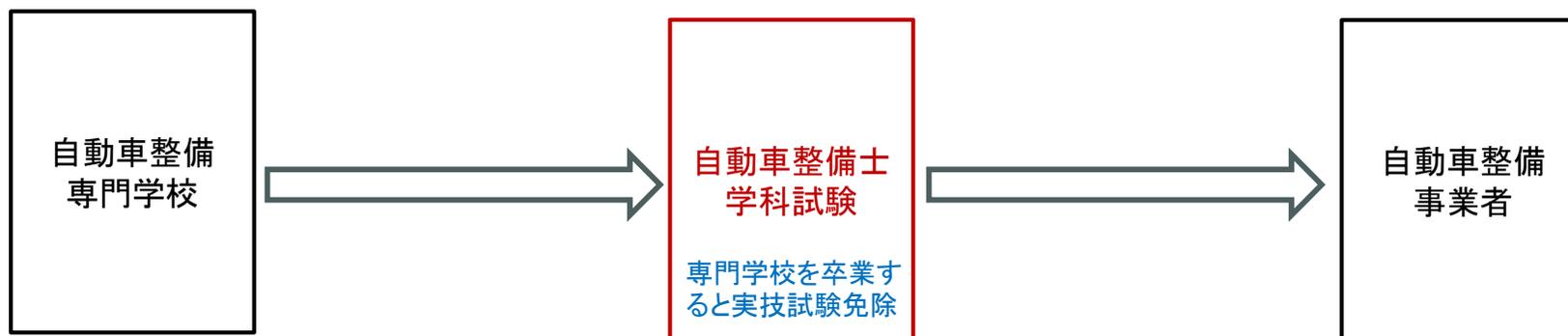


自動車整備事業者
監理団体等

2. 自動車整備士技能検定におけるルビの付与について

背景

- 近年、自動車整備専門学校には、多くの外国人留学生が入学。
- これら留学生にとって、2級又は3級の自動車整備士試験の受験に際し、日本での経験が浅いため漢字学習が課題であり、自動車整備士試験の試験問題にルビを振って欲しいとの声。



取組

- 人材確保WGにて、自動車整備士試験のルビ振りについて検討。

(主な意見)

- 2級、3級のルビ振りには賛成。
- 英語などの多言語化は、整備士の能力として、自動車ユーザー向けに点検整備記録簿などを作成、現場整備士同士のコミュニケーションが必要であることを踏まえれば、慎重に考えるべき。
- これら意見も踏まえ、自動車整備士試験2級(総合)及び3級(総合)について、全ての漢字にルビを振ることとする。実施時期は、新試験が開始される令和9年3月(予定)からとする。
- まずは要望を踏まえた対応とし、最上級の1級については、引き続き検討を行うこととする。

※ 外国人の受験状況 1級:約 2%、2級:約18%、3級:約 8%